

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校
第 152 号

総務部
2016.12.08

生徒会役員が決まる

英語スピーチコンテストで入賞 ロボコン山梨で大活躍

生徒会役員が決まる

10月21日(木)に行われた生徒会役員選挙において、生徒会会長に石原大輔君(高根中出身)、副会長には田中瑠乃輔君(長坂中出身)と川口詩織さん(白根御勅使中出身)、文化局長には小野華月さん(白根御勅使中出身)、体育局長には三ツ木沢斗君(韭崎西中出身)が選出されました。今年度の役員選挙は信任投票となりましたが、前日に行われた立会演説会では、各候補の演説に生徒たちは真剣に耳を傾けていました。新役員の皆さんには、先輩方の築いた伝統に新たな1ページを加えられるよう頑張ってもらいたいと思います。



生徒会活動においては生徒全員が主役です。その代表である生徒会本部役員が選出され動き始めました。生徒のみならず一人ひとりの協力が必要ですので、ぜひ応援していきましょう。

英語スピーチコンテストで入賞

11月3日(木)に、第66回山梨県高等学校英語暗唱弁論大会が甲府市のぴゅあ総合で開かれ、本校からトグチ・ヴィニシウスさんと高橋貴幸恵さんが出場しました。レベルの高い大会に向け二人とも放課後や休日によく練習し、本番でも素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。高橋さんは「不思議の国のアリス」の一節を、アクセントや発音に注意して登場人物の気持ちを考えながら発表しました。一方、トグチくんの、9歳のときにブラジルから来日し、困難なことにも諦めずに乗り越えることで強くなれたという自身の経験に基づいたスピーチはたいへんすばらしいものでした。他校の先生方からも多くの称賛を受け、23校中、見事3位入賞を果たしました。「本番は緊張したが、英語の発音に慣れ単語がわかるようになった。(高橋さん)」「英語でのスピーチで自分の気持ちを伝えられるか不安だったが、練習を重ねるうちに楽しさ変わった。本番では思い通りの発表ができた。(トグチくん)」と語ってくれました。



ロボコン山梨で大活躍

対戦型競技部門優勝

ロボコンやまなし2016 高校生の部I(テニスボール・ピンポン球入れ競技)に、電子機械科・システム工学科の生徒と3台のロボットが出場しました。製作したロボットは生徒達が意見を出し合いながら考えたものをベースにして、製作と同時に実験・改良を重ね仕上げたものです。製作当初は戸惑いながらの作業でしたが、大会が近づくにつれ自分たちで新たに考え、改良を施すことができるようになっていきました。本番の決勝戦は本校同士の対決となりましたが、そこまでの他校との対戦は自分たちで戦略を考えて勝ち抜くことができました。「自ら考えて行動する」ことで優勝という結果に結びついたと思います。



ソーラーカー競技部門優勝

ロボコンやまなし 2016 高校生の部Ⅱ（ソーラーカー）競技に、電子機械科・システム工学科の生徒が製作した4台のロボットが出場しました。今年度は県内の工業高校などから15台のロボットが出場しました。本校が製作した4台のロボットのうち「葦工1号」と「葦工3号」が予選の1位と2位を獲得して決勝に進出しました。決勝ではまず「葦工3号」が1分18秒のタイムで走行し、「葦工1号」の走行前に本校の優勝が決定しました。そこで「葦工1号」は、途中で停止するリスクを抱えながらも、充電時間を短縮して過去最高記録を出すことに挑戦しました。結果、1分11秒のタイムで記録を更新し優勝することができました。今年、本番の大会で実際に使用されるスポットライトを点灯させ、本番と同様の環境で練習を積み重ねたことが優勝につながりました。今年でソーラーカー競技3連覇が達成されました。今後の活躍も期待したいと思います。



自由参加の部

制御工学科課題研究ロボット製作班及びロボット工学部員総勢16名（8台）は、6月から「ロボコンやまなし2016」出場に向け球入れロボットの製作に取り掛かりました。しかし就職や進学試験、資格試験等で思うように進まず、構想は幾つもあったものの、実現に至るまでには多くの困難がありました。製作は、お手玉を拾う部分は、掻き込み型、ハサミ型、先端部に針を付けたものなど多種にわたりました。お手玉を飛ばす部分は、昨年同様2つの車輪を回し、その間に球を送り込み飛ばす方式にしました。また今回は、それぞれのロボットにおいて球がより真っ直ぐ飛ぶように工夫することに力を注ぎました。決まった位置に正確に飛ばすために、「試し」「改良」を何回も何回も繰り返し、なかには大会前日によく真っ直ぐ飛ぶようになったロボットもありましたが、3分間で最高9個入れられるまでの精度の高いロボットも完成しました。



迎えた大会では、3台のロボットが予選を突破し準決勝に進みました。しかし、決勝では惜しくも負け、最終結果は準優勝、3位、4位でした。大会を終えた生徒からは、「他校に負けて悔しい」「ロボット作りは思っていた以上に難しく、アイデアを実現するには様々な技術が必要だ」「ローマは一日にして成らず、毎日コツコツ作り上げないと良いものは作れない」などにじむなかにも、更なる挑戦を志す声が聞かれました。今後は、現1、2年生がさらに技術力を身に付け、他校に負けないようなロボットを作ってくれることを期待しています。

ロボコンやまなし2016 本校の結果

高校の部1（テニスボール・ピンポン球入れ競技）

優勝：葦工MS2号 準優勝：葦工MS3号 特別賞（科学奨励賞）：葦工MS1号

高校の部2（ソーラーカー競技）

優勝：葦工1号 準優勝：葦工3号

自由参加の部（対戦型玉入れロボット競技）

準優勝：ドヤット君1号

特別賞（アイデア賞）：Iron Maiden

牧野賞：コントロール不能

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp